

文教委員会資料⑤

3 所管事務の調査（報告）

(6) 「子ども・若者の“声”募集箱」の本格実施について

資料 「子ども・若者の“声”募集箱」の本格実施について

参考資料 川崎市子ども・若者の“声”募集箱 ～君のつぶやきをきかせて～
－試行実施期間における実績報告書－

こども未来局

(令和5年8月30日)

1 試行実施の概要

(1)実施目的

- ・子ども・若者が、川崎市に対して想っていることや感じていることを把握するしくみを構築し、市政運営の参考意見とする。
- ・自分たちの声が尊重されていることを実感できる機会とする。

(2) 子ども・若者の声に対するこれまでの取組、国の動き

ア 本市の取組

- ・平成12年12月に、全国に先駆けて「川崎市子どもの権利に関する条例」を制定、子どもの意見表明について、同条例第15条「参加する権利」に基づき、「川崎市子ども会議」、「子ども運営会議」と「子ども運営委員会」など、様々な取組を実施してきた。
- ・「市長への手紙」では、大半が大人からの手紙となっており、10代以下からの手紙は全体の約1～2%程度

イ 国の動き

- ・令和4年6月に「こども基本法」が成立（令和5年4月1日施行）
- ・全ての子どもについて、自己に直接関係する事項に関して意見を表明する機会・多様な社会的活動に参画する機会を確保することとされた。

(3)子どもの意見を聴くしくみづくりに求められるもの

- ・これまでの取組や国の動きを踏まえ、次の3つのポイントに重点を置いたしくみとして構築

<3つのポイント>

- 子どもが市政に対して気軽に想いや考えを伝えることができるしくみ
- 広く子どもの想いや考えを受け止め、市政運営の参考意見とすることができるしくみ
- 子どもの意見に対する取組が見えるしくみ

(4)事業内容

- ・市ホームページ上に「子ども・若者の“声”募集箱」のページを設置しオンラインで意見を募る。
- ・チラシ等で広報するほか、G I G A端末（市立小・中学校）のブックマークにホームページのリンクを登録する。
- ・市に対する意見を募る趣旨から、市やまちの課題を考える機会のある小学4年生以上を対象年齢とする。
- ・個別回答はしないが、寄せられた意見は、全て市長が確認するとともに、所管局と共有し、市政運営の参考とする。
- ・意見に対し、市が対応した内容や市の考え方などをホームページに掲載子どもたちへフィードバックを図る。
- ・募集箱の取組自体についての感想・意見も同時に募る。

(5)試行期間

- ・令和4年12月～令和5年5月（本格実施：令和5年9月～）

(6)本格実施に向けた検証と改善

- ・子ども等に特化したG I G A端末を利用した広聴制度は、政令指定都市で初めての取組であり、試行期間中の意見の件数、内容等を分析し、<3つのポイント>の視点を達成できているか検証する。
- ・令和5年9月の本格実施に向けて、試行実施の検証を踏まえ、制度や運用面の改善を行う。

2 寄せられた意見の概要（詳細は「報告書」参照）

(1)募集箱に寄せられた声について

	R4.12		R5.1		R5.2		R5.3		R5.4		R5.5		合計	
	通数	件数	通数	件数	通数	件数	通数	件数	通数	件数	通数	件数	通数	件数
小4-小6	52	69	12	15	11	14	14	17	23	24	32	35	144	174
中1-18歳	16	29	4	6	5	7	6	37	5	5	0	0	36	84
その他	0	0	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	3	4

<主な内容>

- 学校教育（81件）
 - ・納得できない校則を変えてほしい・マスクをしないで学校で遊びたい
 - ・給食の黙食をやめてほしい・校庭でボールで遊べるようにしてほしい
- 公園（45件）
 - ・大きな公園を作ってほしい・公園でボール遊びがしたい
 - ・公園にバスケットゴールや新しい遊具を追加してほしい
- 学校施設（19件）
 - ・校庭を広くしてほしい・学校のトイレをきれいにしてほしい
- 居場所関係（18件）
 - ・友達と自由にゆっくり過ごせる場所がほしい
 - ・気軽に使える自習スペースがほしい
- 図書館（14件）
 - ・図書館を増やしてほしい・図書館の閉館時間を遅くしてほしい
- G I G A端末（11件）
 - ・アクセス制限をなくしてほしい・家に持ち帰れるようにしてほしい

(2)募集箱の取組に対する主な意見（83件）

- ・未成年や若者の声を聞こうとしてくれているのが嬉しい。
- ・募集箱に届いた内容を、みんなに教えてほしい。
- ・もう少しこのような取組をやっていることを発信することが必要。
- ・募集箱のページが、ぱっと見で分かりにくい。文章が読みにくい。

3 <3つのポイント>の視点での検証

■子どもが市政に対して気軽に想いや考えを伝えることができたか

(1)オンラインでの投稿について

- ・オンライン（ホームページ）での投稿方式について、気軽に投稿しやすいなどの肯定的な意見があった。

(2)G I G A端末の活用

- ・子どもにとってG I G A端末が定着していると聞いており、学校時間帯の投稿もあることから、身近な媒体として活用されていると推定される。

評価

- ・幅広い子ども・若者が、市政や日頃感じていることについて、気軽に市に意見や想いを伝えることができた。
- ・G I G A端末に登録したブックマークが効果的だった。

■広く子どもの想いや考えを受け止め、市政運営の参考意見とすることができたか

(1)投稿した年代について

- ・小学生と比較して、中学生以上からの投稿が少なかった。

(2)寄せられた声の内容について

- ・学校や公園、環境美化など、広く市やまちをより良くするための意見が多く投稿された。
- ・個人的な要望は想定より少なかった。

(3)市としての受け止めについて

- ・毎月、寄せられた声を市長が全件確認するとともに、所管部署で検討のうえ、考え方を示すことができた。
- ・具体的な対応につながった事例もあった。
（対応例）・公園のトイレ清掃を実施
・ある小学校のSDGsの取組について、かわさきFMで紹介

(4)「川崎市子ども会議」との連携について

- ・寄せられた声全件を、子ども会議事務局と定期的に共有し、子ども会議との連携を図った。

評価

- ・寄せられた声を所管局と共有し、市政運営の参考とすることができた。
- ・対応可能な案件については、関係局が迅速に対応を図った。

課題

- ・子どもたちから、本制度が十分に認知されていないとの意見が寄せられた。
- ・中学生以上及び、毎年新たに対象となる小学4年生に、継続的・効果的な周知・広報が必要

■子どもの意見に対する取組が見えたか

(1)寄せられた声に対する子ども等へのフィードバックについて

- ・個別回答はしないが、寄せられた声に沿った「市長から子ども・若者へのメッセージ」や「これまでに寄せられた声と市の考え方」を市ホームページ上に毎月掲載・発信した。

(2)届いた声に対する市の取組や検討の状況確認について

- ・試行実施の限られた期間であるため、寄せられた声に対する市の考え方について、その後の取組や検討の状況についての確認、中長期的なフィードバックができていない。

評価

- ・自分たちの意見が受け止められたことを、子ども・若者が実感できるよう、定期的にフィードバックすることができた。

課題

- ・寄せられた声に対するフィードバックについて、子どもたちにより届きやすくなるようなホームページの改善
- ・フィードバックの内容に、寄せられた声に対する市の取組や検討の状況などのプロセスを入れる。

4 こども基本法の理念／こども基本法で求められているもの

(1)こども基本法

【基本理念（第3条第3号）】

全てのこどもについて、その年齢、発達に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会活動に参画する機会が確保されること

【こども施策に対するこども等の意見の反映（第11条）】

国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

(2)こども基本法施行にかかる国の通知

- ・子ども・若者にとって身近なSNSを活用した意見聴取など子どもや若者から直接意見を聴くしくみや場づくり
- ・聴取した意見が施策に反映されたかどうかについて、子ども達へフィードバックすることや広く社会に発信していくことが望まれる。

試行にて実施した「子ども・若者の“声”募集箱」は、こども基本法の趣旨を反映した仕組みとして、先駆的な取組みである。これまでの子どもの声を踏まえ、改善のうえ、本格実施をする。

5 本格実施における制度内容

(1) 本格実施開始日

- ・令和5年9月1日（金）

(2) 意見聴取の方法

- ・GIGA端末の活用も含め、市ホームページからオンラインで意見投稿できるしくみを継続

(3) 対象年齢

小学4年生～18歳

- ・市政運営の参考意見とする趣旨から、学校で川崎市に関することなどを学習する機会がある小学4年生以上を引き続き対象とする。
- ・連携を図る「子ども会議」の対象年齢と同じくする。

(4) 寄せられた声の市としての受け止め

- ・寄せられた意見は、市長が全件確認し毎月メッセージを発信する。
- ・関係局と共有し、市政運営の参考とする。

(5) 「川崎市子ども会議」との連携

- ・寄せられた声全件を毎月、子ども会議事務局に共有する。
- ・「子ども・若者の“声”募集箱」に寄せられた声を基に「川崎市子ども会議」の子どもたちが、次年度のテーマを検討するなどの連携を図る。

(6) 広報・周知【改善・強化】

- ・より多くの子ども達や若者が、想いや声を市に伝えることができるよう投稿の入口をわかりやすくするなど、ホームページを改修する。
- ・中学生以上及び、毎年新たに対象となる小学4年生に重点を置きながら、市内の小・中・高校、特別支援学校（公立・私立）と連携し、広報の充実を図る。
- ・市の広報媒体（市政だより、SNS）を活用し、保護者に向けた視点での広報に取り組むことにより、本制度の認知度向上を図る。

(7) 寄せられた声に対するフィードバックの方法【改善・強化】

- ・幅広く寄せられた声に対する市の考え方を、子どもたちが探しやすく、見やすいようにホームページを改善する。
- ・市の考え方が「実施予定」とされたものについては、定期的に状況を確認し、その後の対応や検討のプロセスをホームページに掲載する。
- ・「子ども・若者の“声”募集箱」に寄せられた声や市の考え方等をまとめた「ニュースレター（仮称）」を作成し、定期的に発信

(8) その他

- ・引き続き、募集箱の取組自体についての感想・意見を子どもたちから募ることにより、より良い制度に向けて改善を図る。
- ・持続可能な制度となるよう、庁内共有の方法等関係局と連携しながら取り組む。

■ 広報用チラシ

きみ 君のつぶやきをきかせて!!

おもいっきり
ボール遊びがしたい

テスト前に勉強できる
場所がほしい

川崎市では、川崎のまちを良くするためのアイデアを募集する「子ども・若者の“声”募集箱～君のつぶやきをきかせて～」をお試し設置します。普段から川崎市に対して想っていることや感じていること、または提案など、あなたの“声”をきかせてください。

かわさき市長 福田紀彦

【対象】 市内在住・在学等の小学4年生～18歳まで

【つぶやき方】

① 「川崎市 声募集箱」で検索してください

※GIGA端末をお持ちの方は、ブックマークにある「子ども・若者の“声”募集箱」をクリックしてください

② お約束または注意事項を読んでから、「ご意見はこちらから」をクリックしてください

③ 「市長にきいてもらいたいこと」を含めて6つの項目についてお答えください

※なお、いただいた主な声については、市の考えとともに市HPにのせていきます。

お問い合わせ
子ども未来局総務部企画課
電話：044-200-1135 e-mail：45kikaku@city.kawasaki.jp

Colors, Future!
川崎市

■ ホームページのリニューアル

現行ホームページ



現在位置: [トップページ](#) [くらし・手続き](#) [子ども・教育](#) [子ども・若者の声](#) 募集箱～君のつぶやきをきかせて～

子ども・若者の“声”募集箱～君のつぶやきをきかせて～

川崎市に住んでいる、または市内の学校に通っている子どもたちなどから、川崎のまちに対する思いやまちを良くするためのアイデアを募集しています。

[子ども・若者の“声”募集箱～君のつぶやきをきかせて～（小学4～6年生向け）](#)（2023年8月10日）

[子ども・若者の“声”募集箱～君のつぶやきをきかせて～（中学生～18歳向け）](#)（2023年8月10日）

© 2023 City of Kawasaki. All rights reserved.

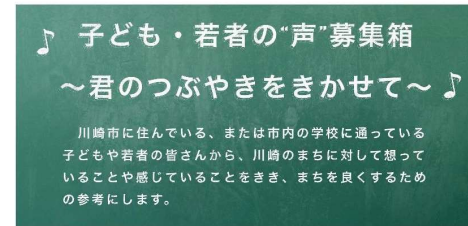
本格実施後ホームページ案



現在位置: [トップページ](#) [くらし・手続き](#) [子ども・教育](#) [子ども・若者の声](#) 募集箱～君のつぶやきをきかせて～

子ども・若者の“声”募集箱～君のつぶやきをきかせて～

ツイッターへのリンクは別ウィンドウで開きます [ツイート](#) 2023年8月25日
コンテンツ番号153556



ルール

- (1)【対象者】川崎市内在住・在学などの小学4年生～18歳まで
- (2)下に書いてある「約束」を読んでから、「ご意見はこちらから」をクリックしてください

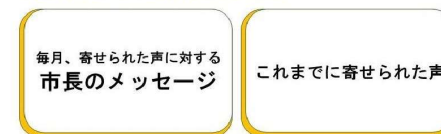
約束

- 「いじめ」や「家族のなやみ」などの相談ごとについては、044-522-3293（24時間子どもSOS電話相談）へ電話するか、この文章をクリックしてください。
- 友だちや知り合いの人の悪口は書かないでください。



↑この画像をクリックすると、入力画面が開きます

市長のメッセージやこれまでに寄せられた声



↑寄せられた声に対する、皆さんへの市長のメッセージです。

↑これまでに寄せられた主な声と、その声に対する市の考えです。

このページに対してご意見をお聞かせください

川崎市子ども・若者の“声”募集箱
～君のつぶやきをきかせて～
－試行実施期間における報告書－

令和5年8月

川崎市こども未来局

「子ども・若者の“声”募集箱」は、子ども・若者が、川崎市に対して想っていることや感じていることを把握するしくみとして、令和4年12月から試行実施にて開始しました。届いた声は、市政運営の参考意見とし、自分たちの声が尊重されていることを実感できる機会となるよう取り組みを進めてきました。

また、子どもが市政に対して気軽に想いや考えを伝えることができること、広く子どもの想いや考えを受け止め、市政運営の参考意見とすることができること、子どもの意見に対する取組が見える仕組みととして構築し、市長が一つ一つに目を通し対応方針を示して、各局（室）区が対応しています。

試行実施期間中（令和4年12月～令和5年5月）に受け付けた「子ども・若者の“声”募集箱」の受理・対応状況等は次のとおりまとめました。

1 募集箱に寄せられた声

(1) 受付状況

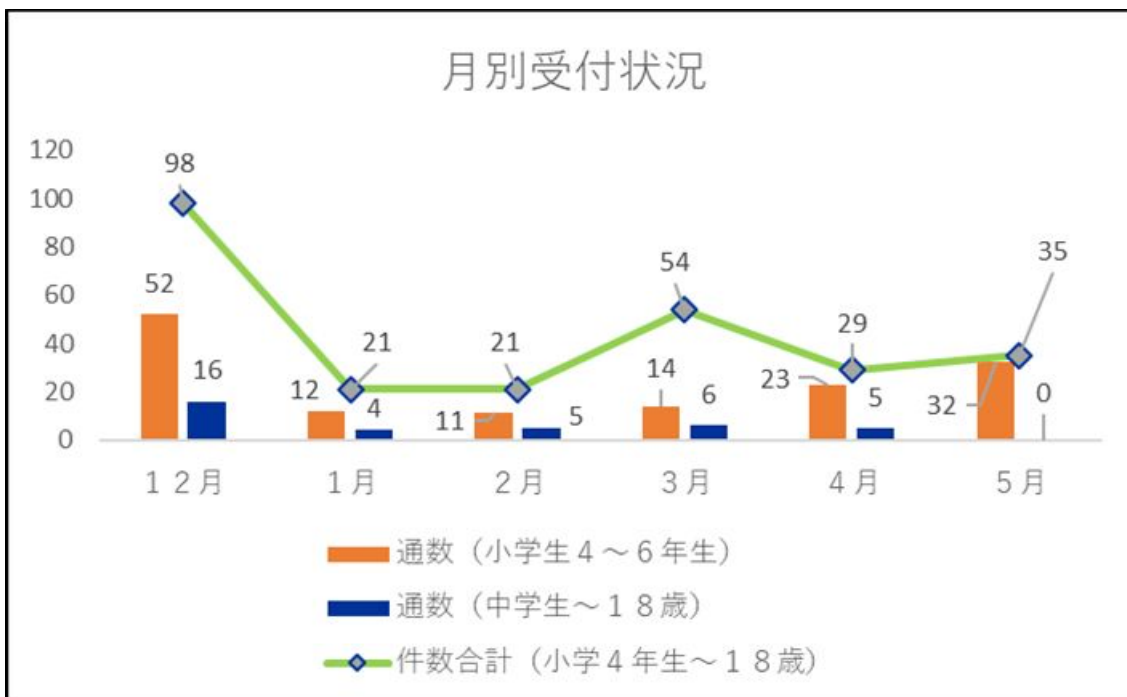
学年	通数	件数	その他 ※1
小学4～6年生	144	174	9
中学生～18歳	36	84	0
その他 ※2	3	4	1
合計	183	262	10

※1…意見が空欄のものや、内容が不明瞭（不適切）なもの。子ども・若者の声としては扱わず、その他として処理し、合計数には加えない

※2…小学生低学年や大学生等、対象年齢外の方からの投稿。子ども・若者の声として扱い、合計件数に加える

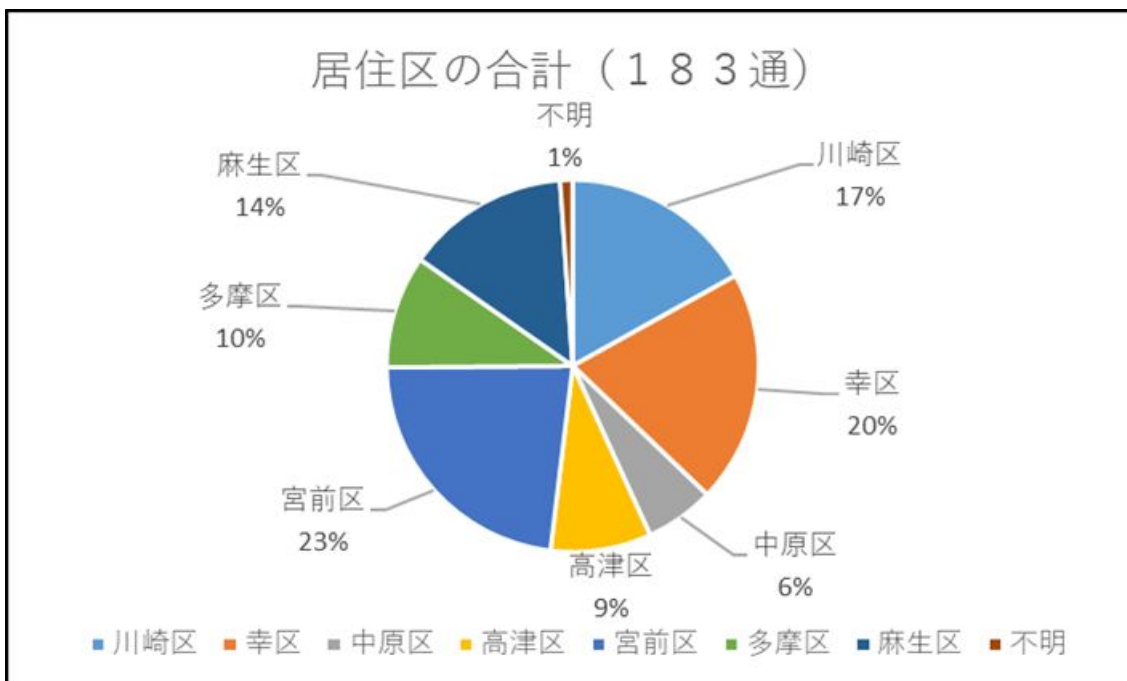
	12月		1月		2月		3月		4月		5月		合計	
	通数	件数	通数	件数	通数	件数	通数	件数	通数	件数	通数	件数	通数	件数
小学生4～6年生	52	69	12	15	11	14	14	17	23	24	32	35	144	174
中学生～18歳	16	29	4	6	5	7	6	37	5	5	0	0	36	84
その他	0	0	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	3	4
合計	68	98	16	21	16	21	23	58	28	29	32	35	183	262

(2) 月別受付状況

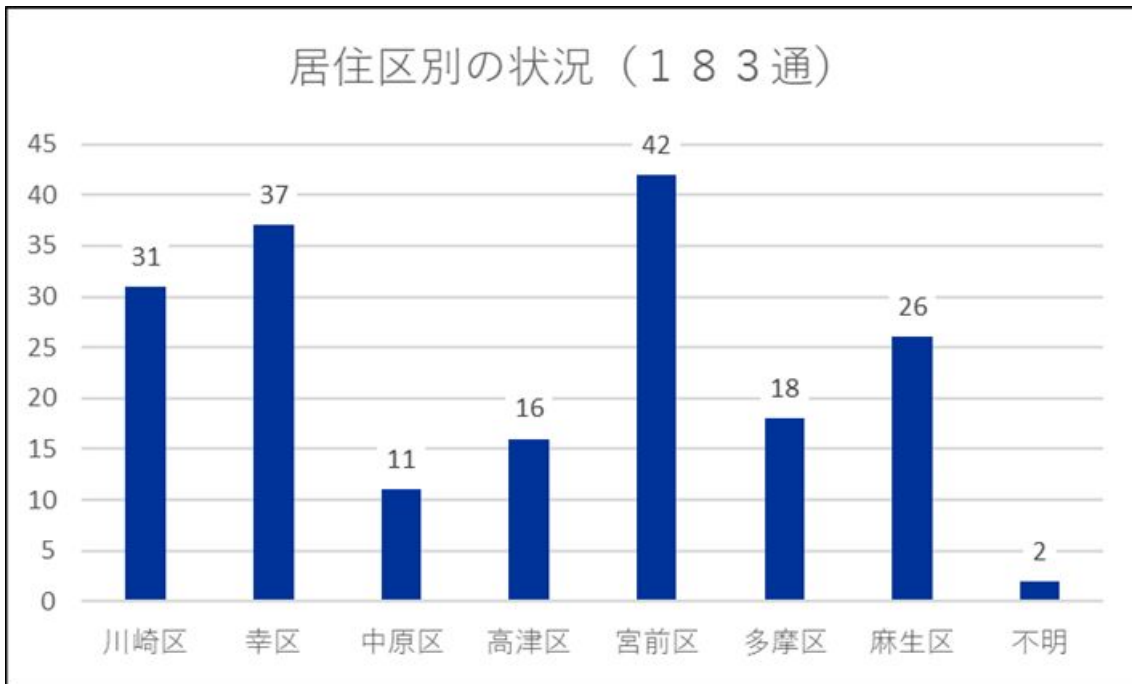


(3) 投稿者の状況

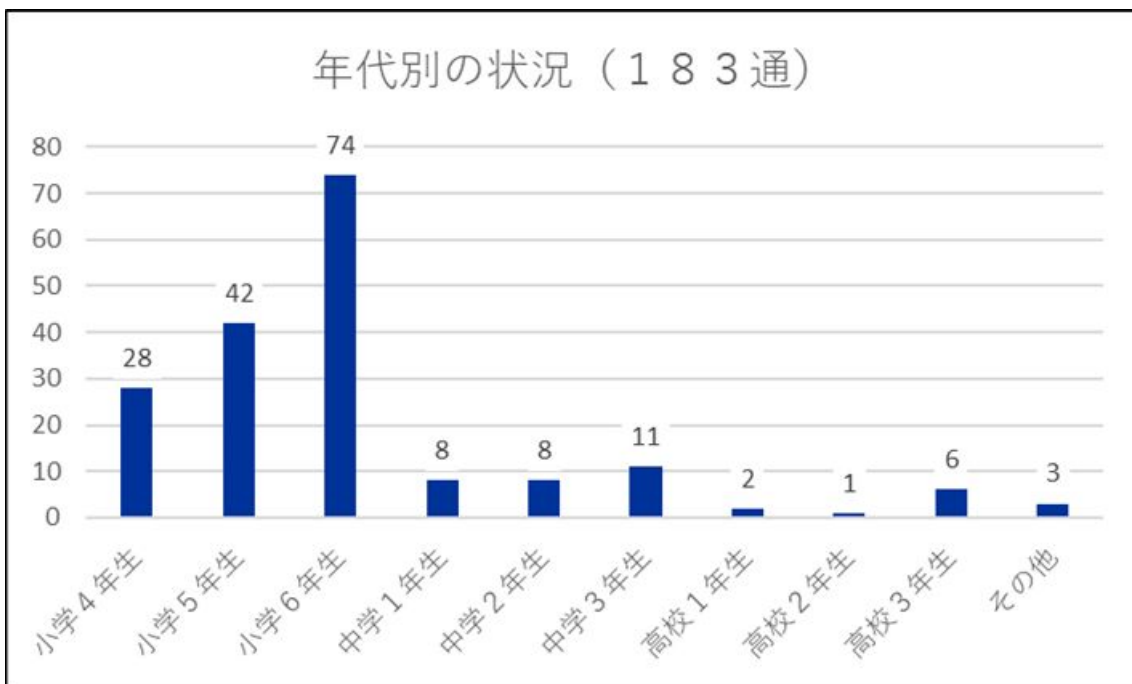
ア 居住区別



※小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

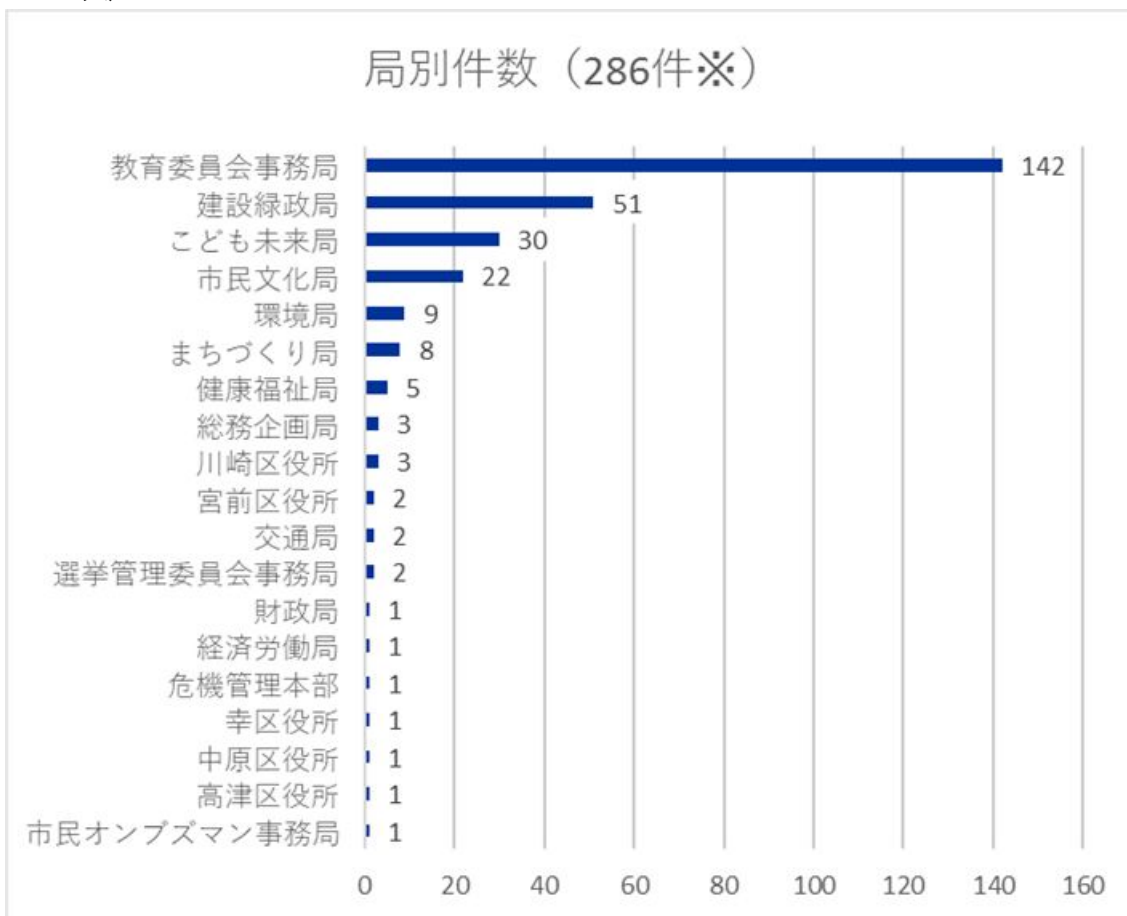


イ 年代別



(4) 局室区別件数

上位局は、教育委員会事務局（142件）、建設緑政局（51件）、こども未来局（30件）、市民文化局（22件）となっており、この4局で全体の85.7%を占めています。（小数第2位を四捨五入）



※1つの意見に対して、複数局に回答作成を依頼している意見がありますので、局別受理件数（286件）と総件数（262件）が一致していません。

(5) 内容内識別の件数

内容内識別では、局別件数 286 件のうち「学校教育」が 81 件 (28.3%)、「公園」45 件 (15.7%)、「学校施設」19 件 (6.6%)、「居場所関係」18 件 (6.3%)、「図書館」14 件 (4.9%) となっています。(小数第 2 位を四捨五入)

ア 内容内識別件数

1位 学校教育 81件
<ul style="list-style-type: none">・理由の説明できない校則やルールを無くして欲しい。小学校では感じなかったが、中学校生活は靴下の丈(数センチの違い)、髪型、スニーカーの色など外見で生徒を統一しようとするので、息苦しかったです。・給食のときの黙食はやめてほしい。子どもだけがしゃべっちゃいけないのはおかしいし、授業も6時間ずっと友達としゃべっちゃいけないのに、給食も静かなんてつまらない。・月に一回自校献立を増やしてほしいです。どうしてかということ子供たちから人気だしワクワクするからです。・マスクをしないで学校で遊びたい・定期テスト前について勉強時間が足りないので、テスト前2週間を部活休止にしてほしいです。・課外学習を増やして、学んだことを自分の目で確かめられるようにしたり、社会に出て必要な礼儀などを学ぶきっかけにしてほしいです。・小学校の校庭でボールをけれるようにしてほしいです。・政治、税金、保険、投資や法律などの将来使いそうなことを学べるようにしてほしいです。・ただ覚える、説明を受けるだけの授業は記憶に残りづらいので、ディスカッション形式などの思考力が問われる授業を増やしてほしい。・分かる授業は単元のテストをやって一定以上の点数だったらなどでいいのでとばせるようにしてほしいです。分かる授業をわざわざ受けて、時間を無駄に使う意味がわかりません。・時間割をすべて5時間にし1時間を45分ではなく55分にして欲しいです。 どうしてかということ放課後の時間が少なくなり1時間弱遊んだらすぐ帰るみたいに放課後、体を動かす機会が少なくなり健康に悪いからです。・年に1回他の小学校の人と一緒に遊びたいです。なぜなら、私は他の小学校と関わる機会が少ないので色々な人と関わって勉強とかの新しい考え方を見つけたいからです。・体育座りが、体に悪影響だから、他の座りかたにして欲しい。 等
2位 公園 45件
<ul style="list-style-type: none">・公園でボール遊びが禁止されているところが多くて困っています。公園でのボールで遊べるところを増やしてほしいです。・とても大きな公園を、作ってほしいです。どうしてかということ、みんなでいっぱいあそんでなかなくなりたいたいからです。・犬が遊べる場所(ドックラン)を多摩区内にもっと作ってほしいです。公園などでは、ボール遊びやリードを離せません。犬たちも公園で散歩するだけでは、ストレスがたまってしまおうと考えています。・バスケットボールのある公園があまり近くにないので増やしてほしいなと思いました。・子供が遊べる公園の遊具を増やして欲しいです。・犬の散歩をしていると特に公園でのゴミが酷いです。時には故意に割られた空き瓶、ガラスが散乱していることもあり愛犬が怪我をしないか心配です。みんなの公園なのでやはり汚いと衛生的にも悪いし、防犯上も良くないと思うので、ゴミを持ち帰る指導をしたほうがいいと思う。・スケボーパークがほしい・公園にトイレをおいてほしいです。なぜなら、公園にトイレがないと、いちいち家に帰ったりしなくちゃいけないからです。あと、トイレがあっても、トイレが汚いと、行く気にならないから、きれいにしたいです。 等

3位 学校施設 19件	<ul style="list-style-type: none"> ・校庭を広くしてほしい ・学校のWi-Fiを強くしてほしい。授業で使うと1mdpsも出なくて重たすぎる。 ・学校の修繕費が足りていなかったり、理科の実験ができていなかったりするので、学校に予算をまわしてほしいです。 ・学校の教室箒をブラシ型にしてほしい。ゴミが取りにくく教室が汚なくなってしまうから。 ・学校のトイレをきれいにしてほしい理由は、汚いみんなが気持ちよくトイレに行けないから。 ・学校のことで、校庭にバスケットゴールがあるけれどももっとバスケットボールを本格的にやりたいし、2つしかないので、中休みなどに体育館を使えるようにしたいです。 等
4位 居場所関係 18件	<ul style="list-style-type: none"> ・雨の日に外で遊べないから、室内で無料で遊べる場所があったらいいと思う。 ・気軽に使える自習スペースを増やしてほしい ・静かに勉強できる施設を作ってほしいです。理由は、静かに勉強をやりたい人や、うるさすぎて勉強がはかどらないという人もいるからです。 ・もっと子ども夢パークのように広い公園のような場所を作って欲しい。 等
5位 図書館 14件	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに図書館がないので増やしてほしいです。 ・図書館の閉館時間をもっと遅くしてほしいです。休日の閉館時間は5時ですが、早すぎます。 ・小学生が自習するスペースが少ないし、狭いし、混んでいるから、小学生が自習できるスペースをもっと増やしてほしい。 ・私は図書館が好きなのですが、駐輪場がないので行くのが億劫になっています。図書館などの公共施設の近くに無料の駐輪場を作って欲しいです。 ・川崎電子図書館で、勉強の本を読もうとしたら、38人待ちで全然読めません。紙じゃなくてデータだからみんな同時に見られるはずですが。みんな同時に読めるようにしてほしいです。 等
6位 GIGA 端末 11件	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGA 端末でできることをもっとふやしてほしい。具体的には調べられることを増やしたりもっとGIGA 端末を使う時間を増やしたらいいと思う。 ・家に持って帰ることができないから、持って帰ってタイピング練習などをしたい。 等
7位 人事・労務 8件	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が少なく先生の仕事が多く(部活動指導や授業準備 等)先生が大変そうだから、部活動支援員の補充、拡大や事務員、非常勤講師などを増やしていけばいいのではないかと思う。 ・教職員、公務員への指導をしっかりする(汚職、暴力等防止に) 等
7位 ごみ収集・処理 8件	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックの包装や問題について、プラスチックを少しずつでいいので減らしてほしいです。 ・ごみ、ポイ捨てについて、もっと街にゴミ箱をおいたり、ポスターを作ったりすればいい。 等
9位 交通安全・防犯 7件	<ul style="list-style-type: none"> ・夜の街灯を増やして欲しいです。 ・不審者をなるべく早く見つけるために防犯カメラの設置をして欲しい 等
9位 市街地整備 7件	<ul style="list-style-type: none"> ・道路がせまいなと感じました。もう少し広くするか、自転車だけが走れる道が欲しいです。 ・電車が好きなので、電車が見えるスポットを作ってください。 等

イ 内容内識別処理状況

	実施(解決)済み	実施予定	検討課題	情報共有	実施(解決)困難	市所管外事項	内容別件数
1位 学校教育	21	5	4	31	20	0	81
2位 公園	8	4	6	24	3	0	45
3位 学校施設	3	2	3	10	1	0	19
4位 居場所関係	17	0	0	0	1	0	18
5位 図書館	2	1	1	9	1	0	14
6位 GIGA 端末	0	3	2	1	5	0	11
7位 人事・労務	2	1	1	2	2	0	8
7位 ごみ収集・処理	2	0	5	1	0	0	8
9位 交通安全・防犯	1	0	2	1	0	3	7
9位 市街地整備	2	2	1	2	0	0	7

(6) 御意見を施策等に反映した案件や取組を進めた主な案件

・末長東公園のトイレがとても汚く手を洗うスペースも虫の死骸でいっぱいなので、綺麗にしてほしい。

→対応：いただいた意見を清掃業者と共有し、清掃を徹底するよう指導しました。また、洗面を含めトイレ全体を再度清掃しました。

・より多くの人にSDGsの大切さを伝え未来にどうつながるかを伝えたいです。

→対応：こちらの意見を受けて教育委員会事務局教育政策室から大師小学校へかわさきFMの出演を打診。意見を送った児童がラジオに出演し、自分たちの取組をPRすることとなった。

2 取組への感想や改善点

制度全般に関すること 52件	<ul style="list-style-type: none"> ・未成年や若者の声を聞こうとしてくれてるのだな、というのがまずこの取り組みで伝わってきて嬉しかった！ ・簡単には、できないこともあるかもしれないけれど、こういうところで街を良くするための工夫をみんなで作られる、意見を出し合える、という所が良いと思いました。 ・とても素晴らしいものだと思う。僕も川崎市をよくしたいと昔から思っていたので、このような取り組みをしていただくのがありがたい。これからもたくさん意見をいれていきたいと思いますのでよろしくをお願いします。 等
ホームページの構成に関すること 12件	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの「市長への御意見・御提案」のところに関連としてこのページに飛べるようにしたら、活動がもっと知れ渡るのではないかと思います！ホームページから検索をかけないといけないので、別の方法から気軽に飛べると嬉しいです！ ・文章がなんとなく読みにくいです。 ・どこから送ればいいのかすぐに気づけませんでした。 ・主な意見が書かれたところってどこですか？ちょっとみつけられなくて。すぐに見つかる場所だったらすみません。この取組のページに乗せてくれると嬉しいです。 等
対象年齢に関する意見 5件	<ul style="list-style-type: none"> ・4～6年生だけではなく、1～3年生の声も聞いたほうが良いと思う。 等
広報・周知に関すること 4件	<ul style="list-style-type: none"> ・もっとみんなに知ってもらえるように、アピールした方が良いと思います。 ・私がこの取り組みを知ったのは、小杉っ子スペースで壁に貼ってあるチラシを見たからで、行かなければ見つけられなかったと思います。なのでもう少しこのような取り組みをやっていることを発信することが必要だと思います。 等
投稿方法に関すること 4件	<ul style="list-style-type: none"> ・クロームで声が伝えられるのがすごく簡単だったのですごく良かったです！！！！ 等
フィードバックに関すること 4件	<ul style="list-style-type: none"> ・募集箱に届いた内容を、みんなに教えてほしい。 等
市政への反映に関すること 2件	<ul style="list-style-type: none"> ・是非、声を聞くだけにはならず、町全体が良くなるように改善を進めて欲しいです。 等